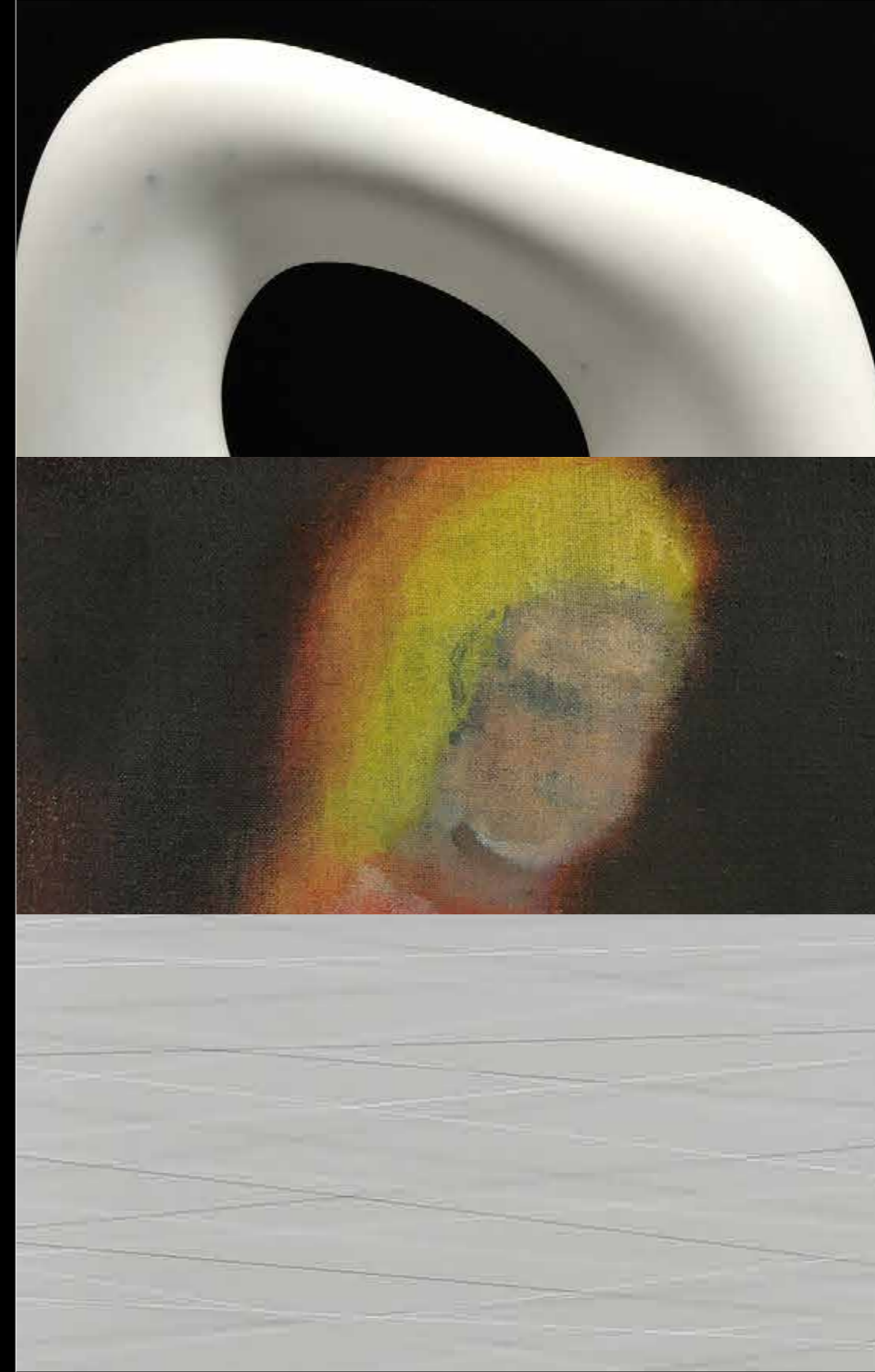


# 三人展

現在世界で活躍している  
日本人芸術家三人



| 会期 |  
2021.4.11 Sun. → 4.18 Sun.  
11:00 - 17:00

| 会場 |  
Gallery Shirokane  
〒108-0071  
東京都港区白金台4-19-13 白金TFビル1階

| 主催 |  
勝田明子  
090-4019-8151  
石坂千枝  
090-2441-0317

KAN YASUDA  
LEIKO IKEMURA  
TADAAKI KUWAYAMA



KAZE 風  
1996 / Statuario White Marble  
H57.5×60.5×13cm / 60kg



KAZE 風  
2007 / Belgian Black Marble  
H36×50×13cm / 20kg



MAMU 真無  
2013 / Statuario White Marble  
H63×28×20cm / 80kg



TENSEN 天泉  
2000 / Statuario White Marble  
H35×35×25cm / 25kg



MYOMU 妙夢  
2013 / Statuario White Marble  
H37×55×16cm / 25kg



ISHINKI 意心帰  
2018 / Statuario White Marble  
H19×40×26.5cm / 20kg

## 安田 侃

KAN YASUDA

1945年北海道美瑛市生まれ。1970年イタリア政府招聘留学生として渡伊。ローマ・アカデミア美術学校でペリクレ・ファッツイーニ氏に師事。以降、大理石の産地として知られるトスカーナのピエトラサンタにアトリエを構え、大理石とブロンズによる彫刻の創作活動を続けている。故郷の美瑛市に安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美瑛がある。

- 1991年 「彫刻の道」(ミラノ、イタリア)
- 1994-95年 「大理石とブロンズ」ヨークシャー彫刻公園(イギリス)
- 1995年 「野外彫刻展」(ピエトラサンタ、イタリア)、「街における彫刻」(フレンツェ、イタリア)
- 2001年 「野外彫刻展」東京都庭園美術館
- 2005年 「人生を愛することは、平和を作ること展」(アッジジ、イタリア)
- 2007-08年 「時に触れる」(ローマ、イタリア)
- 2011年 「街に触れる」(札幌)、「時に触れる」(トリノ、イタリア)
- 2011-12年 「現代の神話」(タオルミーナ、イタリア)
- 2012-13年 「Sculpture Promenade 2012」フィッツウィリアム美術館(ケンブリッジ、イギリス)
- 2016年 「時に触れる」クリスティーズ(ニューヨーク、アメリカ)、「時に触れる」(ピサ、イタリア)
- 2017年 「Between Sky and Water」アマン・ヴェニス(ヴェネツィア、イタリア)

### 主なモニュメント設置場所

東京ミッドタウン、東京ミッドタウン日比谷、東京国際フォーラム、札幌駅JRタワー、創成川公園、洞爺湖畔、酒田市美術館、朱鷺メッセ、ベネッセアートサイト直島、宮崎県立美術館(以上日本)、トラヤヌス帝の市場(ローマ、イタリア)、ポーボリ庭園(フレンツェ、イタリア)、ブリッジウォータホール(マンチェスター、イギリス)、ガラチーコ(カナリア諸島、スペイン)、オーロラプレイス(シドニー、オーストラリア)、APECナルパーク(釜山、韓国)シティーガーデン(セントルイス、アメリカ)など

安田侃ウェブサイト  
<http://www.kan-yasuda.co.jp>



Angular in Red  
2001 / oil on jute, gerahmt  
80×80cm



Over the Waves  
2007 / Oil on canvas  
70×80cm



Landscape R  
2007 / Tempera on jute  
60×70cm



Mother Away  
2000 / oil on jute  
70×70cm



Head over Lying  
2008 / oil on canvas  
62.5×76cm



Haruko  
2016 / tempera on jute  
60×90cm

## イケムラレイコ

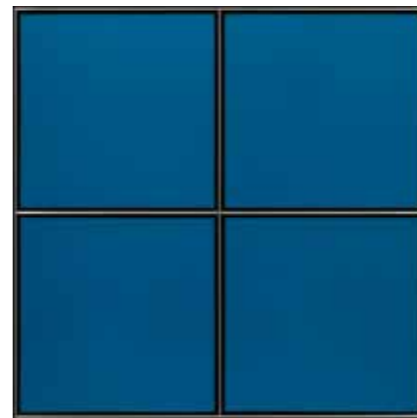
LEIKO IKEMURA

三重県津市生まれ。1970-72年、大阪外国語大学スペイン語科に在籍後、1972年にスペインに渡り、セビリア美術大学に学ぶ。1978年に同大学を卒業。1991-2015年、ベルリン芸術大学(UdK)教授。すでに30年以上にわたって世界各地で数多くの個展を行い、国際的にも高く評価されている。2009年にアウグスト・マッケ賞を受賞。2015年にケルン・ファインアート賞を受賞。2020年に令和元年度(第70回)芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。現在はベルリンを拠点に活動を行う。詩人・文筆家としても活躍している。

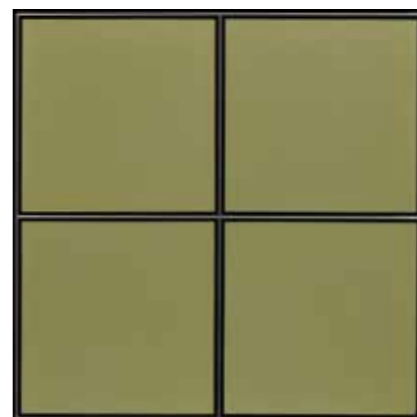
- 2011-12年 「うつゆくもの」東京国立近代美術館 および三重県立美術館
- 2013年 「i-migration」カールスルーエ州立美術館(カールスルーエ、ドイツ)
- 2014年 「PIOON(ぴょん)」ヴァンシ彫刻庭園美術館(静岡)
- 2015年 「ALL ABOUT GIRLS AND TIGERS」ケルン東洋美術館(ケルン、ドイツ)
- 2016年 「AND SUDDENLY THE WIND TURNS」ハウス・アム・ヴァルトゼー(ベルリン、ドイツ)
- 2016-17年 「Poetics of Form」ネバダ美術館(リノ、アメリカ)
- 2019年には過去最大の個展となる「土と星 Our Planet」を国立新美術館(東京)にて開催、その成果から令和元年度芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。同年「Nach neuen Meeren」と題してバーゼル美術館(スイス)へも巡回された。

イケムラレイコウェブサイト  
<https://leiko.info/>

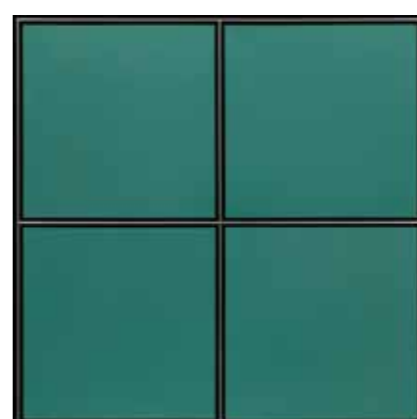
Instagram Studio Leiko Ikemura  
<https://www.instagram.com/studioleikoikemura/>



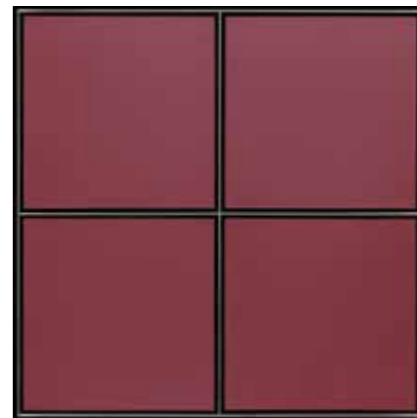
TK5223-34-66  
1966 / Metallic Blue on Canvas  
60.0×60.0cm



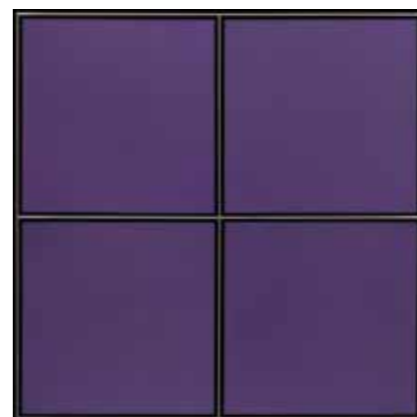
TK4823-34-66  
1966 / Metallic Yellow on Canvas  
60.0×60.0cm



TK4423-34-66  
1966 / Metallic Green on Canvas  
60.0×60.0cm



TK5123-34-66  
1966 / Metallic Pink on Canvas  
60.0×60.0cm



TK4623-34-66  
1966 / Metallic Purple on Canvas  
60.0×60.0cm



TK5131-78-62B  
0000 / White tape. One of pair '62B&62A'  
84.5×84.5cm

## 桑山 忠明

TADAKI KUWAYAMA

1932年名古屋市に生まれる。1956(昭和31)年東京芸術大学日本画専攻を卒業。1958(昭和33)年渡米してニューヨークに定住。1961、62(昭和36、37)年のグリーン・ギャラリーでの個展を皮切りに、以後アメリカ、ヨーロッパ、日本等の画廊で発表を続ける、現在まで第一線で創作活動を行っている。

- 1966-67年 「色彩の形体」アムステルダム市立美術館などのグループ展に参加
- 1985年 北九州市立美術館
- 1995年 「戦後日本の前衛美術」サンフランシスコ近代美術館他 三人展(アメリカ)
- 1996年 川村記念美術館(千葉)、千葉市美術館
- 2009年 「ザ・サードマインド：アジアを見つめるアメリカの作家たち 1860-1989」グッゲンハイム美術館(ニューヨーク、アメリカ) ルベルティスム近代美術館(ザルツブルグ)
- 2000年 名古屋市美術館
- 2010年 国立国際美術館(大阪)
- 2011年 金沢21世紀美術館
- 2011年 「表面、支持体、プロセス：グッゲンハイム・コレクションによる1960年代のモノクローム」グッゲンハイム美術館(ニューヨーク、アメリカ)
- 2012年 神奈川県立近代美術館 葉山
- 2018年 「Minimalism: Space, Light, Object」シンガポール国立美術館

### 主な作品収蔵先

グッゲンハイム美術館(ニューヨーク)、ニューヨーク近代美術館、オルブライト=ノックス美術館(パッファロー、ニューヨーク)、ベルリン国立美術館、チューリッヒ構成美術・具象絵画財団、東京国立近代美術館、国立国際美術館(大阪)